



《東京都中学校長会》

令和元年 7 月 9 日（火）

7 月 会長だより

（地区代表者会）

会長 酒 井 泰

1 挨拶

6月18日（火）の夜間に発生した山形県沖を震源とする地震は、新潟県村上市で最大震度6強という大きなものでした。校舎や施設に被害が出た小・中学校もあったとの報道に接すると、改めて災害対策に万全はなく、様々な点検や連絡体制の確認の必要性を強く感じました。夏季休業日まであと2週間余りとなり、各学校では、成績処理や評価・評定の決定、通知表の作成などを進めるとともに、三者面談や部活動の予定など夏季休業日に向けた準備に追われていることと思います。これから迎える夏は熱中症対策に一層留意しなければなりません。今年の予報では、エルニーニョ現象が続く影響で、天候不順となる可能性があると言われていています。平均気温は平年並みで、降水量も平年並みのところが多いとのこと。昨夏のような猛烈な暑さとならないことを祈るばかりです。

さて、今学期の東京都中学校長会の活動は、4月の総会以降新たなスタッフに引き継がれ、会員の皆様のご協力を得て、現在まで粛々と活動を進めてまいりました。これまでの主な活動を挙げると、地区代表者連絡会・区市等校長会長連絡会に加えて次の活動に取り組んできました。東京都小中学校女性校長会・東京都公立中学校副校長会・東京都教育管理職員協議会・東京都公立小学校長会・東京都中学校体育連盟・日本教育会・東京都退職校長会等の関連団体の総会・式典・会議への出席。また、東京都租税教育推進協議会・社会を明るくする運動東京都推進委員会・東京子ども応援協議会・東京都産業教育振興会等支援団体の総会・会議への出席。さらに、東京都教育委員会からの協力要請による、東京都立高等学校入学者選抜検討委員会・七都県高校進学問題協議会等への参加など数多くの活動を会長・副会長を中心に分担して行ってまいりました。

夏季休業日から夏季休業日明けに向けて、各地で発生した登校中の児童が巻き込まれる自動車事故や不審者に危害を加えられる事件など、登下校を含めた学校の安全管理の再度の徹底が必要となっています。さらには、関係機関等と連携した虐待への迅速で的確な対応も求められます。長期休業中も不登校傾向の見られる生徒を中心とした状況把握や相談機関との適切な連携など、生徒の安全・安心に向けた対応に組織的かつ継続的に取り組んでいくことが重要であると考えます。それぞれの学校における対応や方策は異なる場合がありますが、地区代表者会等の機会を活用し、各学校での実践や課題を共有していくことで各地区・学校の対応の充実に寄与することも本会の重要な役割とっております。

最後に先生方におかれましては、夏季休業期間は、さまざまな全国大会や研究会、研修会等の場で、自己研鑽や情報収集を図ることができる貴重な時期となりますが、併せて、この時期に鋭気を養い、今後に向けた充電の期間としていただけたらと願っております。

2 当面の課題

(1) 令和2年度東京都立高等学校入学者選抜について

5月から開催されている東京都立高等学校入学者選抜検討委員会も、7月8日（月）で最終回を迎えます。既に4回の検討委員会を重ね、令和2年度に向けた都立高等学校入学者選抜の改善を進めています。その検討内容は、進路対策委員会を通じて各地区に情報が提供されていくこととなります。各校では、進路説明会が行われ、今年度の進路学習の指導も本格的となっていると思います。様々な情報や案内、リーフレット等が配布されてくると思いますが、各学校での対応をよろしくお願いいたします。

(2) 都教育庁人事部との情報交換会について

7月8日(月)午後3時30分から、今年度第1回目の都教育庁人事部との情報交換会が行われました。大変お忙しい中、浅野人事部長様をはじめ人事部の担当の方々にご出席いただき、①学校の働き方改革に関わる課題、②管理職と再任用教員の確保に関わる課題、などについて担当者から説明をいただき、その後、率直な意見交換を行いました。本日、協議内容の報告をさせていただきます。なお、人事部との情報交換会は年間2回開催しています。今年度も同様に開催していく予定です。

(3) 都教育庁指導部との教育連絡会について

7月16日(火)午後4時から、今年度第1回目の教育庁指導部との教育連絡会を行います。大変お忙しい中、増田指導部長様をはじめ、指導部や担当の方々にご出席をいただき、①道徳授業地区公開講座やセーフティ教室について、②児童・生徒の学力向上を図るための調査について、③東京都中学校英語スピーキングテストについて、④文化部活動の在り方に関する方針について、⑤オリンピック・パラリンピック教育の推進について、などの情報交換を行う予定です。限られた時間ではありますが、本会と東京都教育庁指導部との意思疎通を深める連絡・協議となるようにしてまいりたいと考えています。今年度もこの連絡会を年3回行う予定です。

3 連絡・報告事項

(1) 平成31年度教員採用選考

7月14日(日)に、今年度の教員採用選考が行われます。今年度の応募倍率は、平均3.8倍と昨年度の平均3.9倍から横ばいの状況を示していますが、一昨年は、平均5.7倍であり、大幅に減少した傾向が続いているようです。今年度の4月当初は欠員に加え、新規採用者の加配の状況があったとの情報を得ています。いずれにしても、教員採用選考の倍率が低いままになっている状況は大きな課題であります。民間の求人状況が良いことに加え、教職員の働き方改革への課題も少なからず影を落としているのではないかと考えます。

中学校においては、今後とも退職年齢層が多い状態が続き、新規採用教員の配置も続いていくこととなります。これからの中学校教育の充実・発展のためにも、中学校として新規採用者の増大と質の確保を実現していかなければならないと思います。

(2) 東京都中学校体育連盟の運営について

6月の会長だよりでもご報告いたしました。次年度以降の東京都中学校体育連盟事務局の設置に関わる状況説明と依頼を、5月に引き続き今月も特別区教育長会及び都市教育長会等に行わせていただく予定です。

(3) 東京都中学校長会新任校長連絡会

6月27日(木)午後、平成31年4月1日に東京都公立中学校の校長になられた先生方を対象に、本会主催の新任校長連絡会を開催しました。当日は、本会の運営組織・活動方針・活動概要の説明に続いて、「先輩校長の講話」として、練馬区立中村中学校 大石 光宏校長、立川市立立川第一中学校 唐亀 康司 校長からご指導をいただきました。

今年度新任校長69名のうち、44名の先生方に参加をしていただき、会場には熱気があふれ、学び・高め合う場となりました。今後とも東京都中学校長会として新任の校長先生方の学校経営を様々な角度から支えていきたいと思っております。

(4) オリンピック・パラリンピック教育の推進について

来年度のオリンピック・パラリンピック競技の観戦申込が終了し、調整の結果を待つ状況になりました。各地区では、東京都の取組とともに各自治体独自の取組が本格化し、様々な活動が展開されていることと思っております。生徒の主体的な活動を作り上げるには、綿密な計画と粘り強い指導が必要です。今のうちから取り組んでおいた方がよいこと、成果が上がった事例などについては、地区を越えて情報交換し、取組の充実を図る必要があると思っております。「2020東京オリンピック・パラリンピック」が生徒一人一人にとって、これからの人生の成長の糧となるよう準備を進めていきたいと思っております。